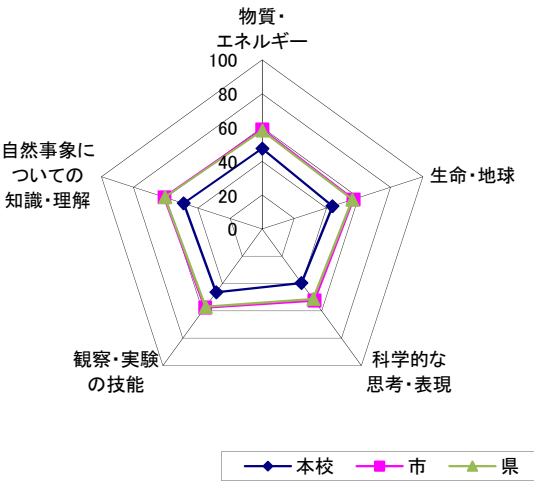


宇都宮市立海道小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	47.5	59.0	58.2
	生命・地球	43.8	56.8	56.1
観点	科学的な思考・表現	39.5	52.5	51.3
	観察・実験の技能	46.3	57.6	57.0
	自然事象についての知識・理解	48.9	60.9	60.5



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	●領域別の正答率は47.5%で、県平均を10.7ポイント下回る。 ●空気と水の性質の問題の平均正答率は58.6%で、県平均を8.0ポイント下回る。その中でも、閉じこめた空気を圧すときの押し返す力の問題の正答率は、県平均を19.8ポイント下回る。 ●金属、水、空気と温度についての問題の正答率は45.8%で、県平均を11.3ポイント下回る。その中でも、水は熱せられた部分が上方に移動して全体が温まる問題の正答率は、県平均を26.3ポイント下回る。 ●電気のはたらきの問題の平均正答率は37.5%で、県平均を13.1ポイント下回る。その中でも、光の強さと光電池の電気を起こすはたらきの問題の正答率は、県平均を31.0ポイント下回る。	・実験を行うに際し、その目的、事前の予想、予想を検証するための実験方法、実験の結果、結果からの考察をはっきりとさせて学習を進めていく。 ・領域全般につまづきがみられた。実験を通して見出した問題をさらに興味・関心をもって追究したり、日常での疑問「なぜ」を大切にしながら課題を追究したりしていく必要がある。また、知識として定着させるべき事項については、しっかり身に付くまで繰り返して確認し続けることも合わせて行っていく。
生命・地球	●領域別の正答率は43.8%で、県平均を12.3ポイント下回る。 ●人の体のつくりと運動の問題の平均正答率は25.0%で、県平均を17.5ポイント下回る。その中でも、人の背中がまるく曲げられる理由を説明する問題の正答率は、県平均を22.3ポイント下回る。 ●天気の様子の問題の平均正答率は、42.5%で、県平均を11.3ポイント下回る。その中でも、水は熱しくても蒸発する問題の正答率は、県平均を26.7ポイント下回る。 ●月と星の問題の平均正答率は44.3%で、県平均を14.9ポイント下回る。その中でも、星座早見の持ち方や使い方の問題の正答率は、県平均を24.8ポイント下回る。	・人の体のつくりについて理解させるため、復習の機会をつくり、デジタル教材を使って覚えさせたり、骨格模型などの具体物を使って再度認識させる。 ・学校の花壇や周りの自然観察等、身の回りにある環境を活用して、自然の事象に対する興味・関心を高めるとともに、実感をともなった理解を図る。 ・天気のように月と星については、日頃から観察する習慣をつけたり、インターネットや新聞を活用したりして、実生活と結びつけて学習に取り組んでいけるようにする。また、観察結果から自然現象を考察をする際に、自分の言葉で書かせるなど、言語活動にも力を入れていく。